

ひふみのあゆみ 2010年1月12日号

ひふみ投信 2009年12月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



運用責任者からお客様へ

◆ 12月の投資環境(株式市場等での出来事)と「ひふみ投信」の運用について

12月は11月の投資環境とは一変して、大きな反転相場になりました。ドバイショックで広がった金融不安が11月末にはピークに達しましたが、アブダビのドバイへの救済策が発表されたことで世界の金融市場に安ど感が広がったことや、日銀の金融緩和姿勢が明確になったことで、短期金利が低下するとともに円高が是正され、日本株に対する投資姿勢が改善し始めました。これまで海外の投資家は日本株の保有株比率を非常に低く保っていましたが、日本株に対する投資比率を引き上げる動きがおきました。

株価が大きく上昇したのは時価総額の大きな国際優良株が中心でした。為替が円高傾向から円安に修正が進むにつれて、円安メリットをうける輸出・ハイテク企業が大きく上昇しました。

また米国の雇用統計が事前の予想を上回り改善傾向にあることから、米国と米国の株式市場に対する信頼感が高まり、年初来高値を更新していることも日本株の反発には大きく寄与しました。

そのような中、ひふみ投信は「守りながら増やす」という考え方から現金比率を高めにしていましたが、12月に入り、株式市場に先高観が感じられること、為替が円安方向にふれたことにより、2つの行動をしています。

- ①現金の比率を減らして株式の比率を上昇させること。
- ②内需成長株で小型株の組入れを減らして、外需成長株で大型株の組入れを開始することです。

その流れで、小松製作所(6301)をポートフォリオに組み入れました。小松製作所は建設機械の大手のひとつですが、海外でのシェアが高い会社です。それも今後世界でも成長が予想される、中国やインドやロシア、ブラジルなどの新興国の比率が高く、世界の成長の恩恵を受ける企業です。またハイテク化が進んでおり、建設機械にGPSをつけて、生産現場でどのような場所でどのような動きをしているのかを探索するIT技術などのソフトウェアにも強みがあります。

◆ 今後について

(運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

日本の雇用環境や消費関連は厳しい状態であり、街角指数などのコメントを参照しても、むしろ8月から悪化傾向にあります。また12月の冬のボーナスは2桁減と厳しく、消費については後ろ向きが続いています。

一方で日銀は超緩和政策を続けており、全世界的に金融緩和政策が取られています。また在庫調整を急激に進めたエレクトロニクス業界の中には回復基調を示している企業も増えてきており、世界的な景気の回復の兆しも見えています。この兆しをうけ、前回の11月度のひふみのあゆみでも申し上げた通り、「外需成長株」の比率を今までの「内需成長株」一辺倒の組み入れから上昇させています。また、現金比率も現在のところ少しずつ引き下げています。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見直し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみ投信の基準価額について

2009年12月30日時点の基準価額

1万口当り 11,967円

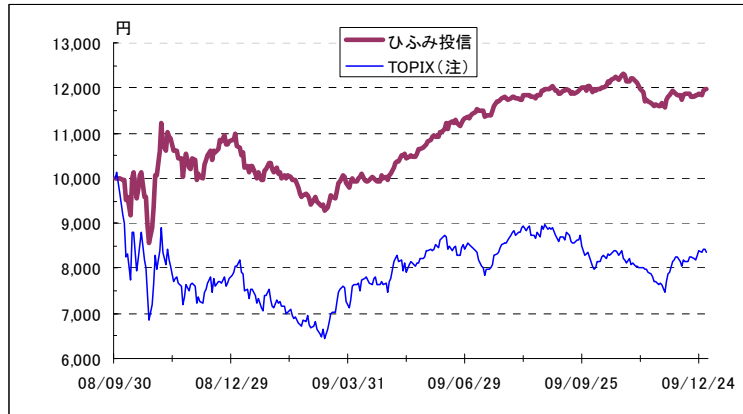
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段の事です)

■ 運用成績について

基準価額のあゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1カ月	1.99%	8.05%
過去3カ月	-0.67%	-0.25%
過去6カ月	5.26%	-2.38%
過去1年	10.21%	5.63%
設定来	19.67%(※1)	-16.54%(※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2009年12月30日までに於ける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2009年12月30日までに於ける数値です。

■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

ひふみ投信の資産内容について (2009年12月30日時点)

■ 資産の内訳

純資産総額	4.52億円
うち 株式	67.38 %
うち 預金その他	32.62 %
受益権総口数 (※)	377,969,151口

国別の割合	
日本株式	100 %
海外株式	0 %

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

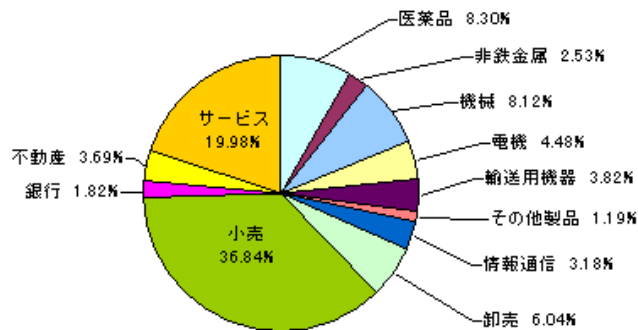
■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数: 37銘柄)

	銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	6301	小松製作所	機械	4.28%
2	4775	総合メディカル	小売	3.97%
3	2668	タビオ	卸売	3.40%
4	3046	ジェイアイエヌ	小売	3.30%
5	2678	アスクル	小売	3.29%
6	6594	日本電産	電機	3.02%
7	7522	ワタミ	小売	2.92%
8	9843	ニトリ	小売	2.76%
9	4568	第一三共	医薬品	2.63%
10	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	2.57%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。